いわみざわ

発行所　隊友会岩見沢支部
編　集　陸上自衛隊
　　岩見沢駐屯地
印刷所　福祉村
　　岩見沢市栗沢町
　　最上350
TEL(0126)45-2721

平成26年度矢臼別演習場秋季定期整備

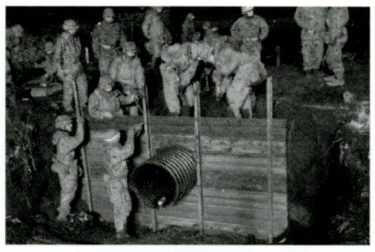
妻部の構築

吸出防水シートを使用して洗掘を防止

薄氷が張る中での排水整備

装輪道整備

排水設備の整備


夜間にまで及んだ作業

故障整備を実施

鋼矢板で地盤沈下を防止

降雨と排水不良によりぬかるんだ現場

『徹底的』に『徹底』した演習場整備！

第12施設群整備隊（整備隊長・末廣1佐）は11月6日から18日の間、平成26年度矢臼別演習場秋季定期整備を実施した。

今回は、岩見沢から第12施設群主力及び第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊、釧路から第342施設中隊及び第2直接支援中隊釧路派遣隊が第12施設群整備隊を編成した。

9日に実施した編成完結式の中で整備隊長は、『徹底的』に『徹底』することを『徹底』せよ。」を要望し、「整備隊として一丸となって任務を遂行しよう。」と述べた。

本演習場整備における任務は、矢臼別演習場全域における装輪・装軌車道整備であり、北部方面隊唯一の施設群として作業品質、適時性、指揮幕僚活動、基本基礎、安全管理等において妥協することなく徹底的に「質」を追求した整備を完成させ、「自衛隊の道場」としての機能を向上させる。

11日、作業を開始して3日目を迎えたが、降雨や早朝の冷え込みに加え、作業時間の延長等、徐々に疲れが出始める頃ではあるが、隊員たちの士気は旺盛であり、高い施設技術と丁寧な作業により、各中隊順調に進捗した。

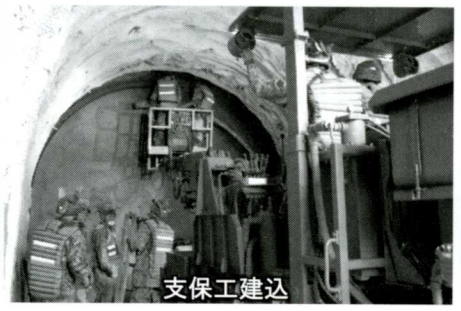
15日は北部方面総監点検が実施され、状況報告の中では、整備隊としての作業内容と指揮システムを野外展開した取り組みについて報告し、総監は「新しい事にチャレンジすることは非常に良い事だ。」と述べられた。その後は熊の山と大和台を視察し、成果を確認するとともに隊員を激励された。

整備隊本部は、日々の作戦会議において各作業現場の作業進捗を把握、機力及び隊力を集中させて本来任務である恒常整備・特定整備を徹底的に品質を追求して早期終了に寄与した。また、整備隊長は演習場の機能向上のため、3箇所の追加任務を付与するとともに、北施隊直轄の第303ダンプ車両中隊の骨材運搬を支援して、北部方面施設隊としての任務遂行にも大きく貢献した。

第101施設直接支援中隊は、整備隊車両の故障整備・日々の巡回整備を実施して、高稼働率維持・向上に大きく貢献した。

第302坑道中隊訓練検閲

コンクリート吹付け


支保工建込

坑道掘削機による掘削

中隊一丸となって任務完遂！

9月16日から18日の間、上富良野演習場において第302坑道中隊（中隊長・伊藤3佐）に対し、訓練検閲を実施した。

16日に岩見沢駐屯地で隊容検査等を行い、統裁官は訓示の中で「被支援部隊の要求を第一義とし、徹底的に質の高い施設作業を追求せよ。」「やるべきことを確実に実施せよ。」の2点を要望した。

隊容検査終了後、中隊は上富良野演習場へ前進し、集結地を占領。関係部隊との調整後直ちに準備作業を実施し、地対艦ミサイル連隊が所望する坑道式構築物の構築を開始した。また、中隊長が設計小隊長に対し、坑道調査地域における弾性波探査準備命令を下達し、翌日には探査を実施した。

今検閲の任務は、地対艦ミサイル連隊の築城作業を支援するものであり、群長指導では、発射機用坑道式構築物の構築状況・調査設計要領及びFCU用軽掩蓋掩壕の構築に関する構築手順、発射機用露天掩壕の構築状況について指導を受け、状況を終了した。

その後中隊は講評を受け、駐屯地帰隊後AARに参加し、本訓練検閲の教訓とするとともに、今後の各種訓練の資とした。

ロックボルト打設

ふるさと百餅祭り支援！

9月13日から15日の3日間、岩見沢最大のお祭りである『ふるさと百餅祭り』を支援した。

今年で32回目を迎えたこのお祭りは、五穀豊穣、商売繁盛、長寿を祈願し、岩見沢特産品のもち米を使い、大臼で1回に60kgのお餅をつきあげるお祭りとして有名である。

岩見沢市を広報・災害派遣隊区として担任している第336施設中隊（中隊長・鳥越1尉）は、大臼でついたお餅をお汁粉にして提供した。お汁粉作りには中隊から6名が参加し、野外炊具1号を使用して、この3日間で延べ約8，400食を提供した。お汁粉の配布時間になると多くの市民が長蛇の列を作り、甘いお汁粉に心が癒され、そのおいしさに舌鼓を打った。

第312施設器材中隊（中隊長・橋本1尉）は保有するクレーンで、百餅祭りのシンボルでもある大臼を覆う櫓の構築を支援した。

さらに今年は広報ブースも趣向を凝らし、普段の訓練で食べている戦闘糧食の試食や、自衛隊クイズコーナー等を設け、自衛隊や駐屯地について多くの市民にPRすることができた。

祭り期間をとおして天候に恵まれ、来場者数は約30万人にのぼった。大いに盛り上がった今年の百餅祭りに我が第12施設群の活躍が、その一助となったことは間違いない。

職種協同訓練（施設）

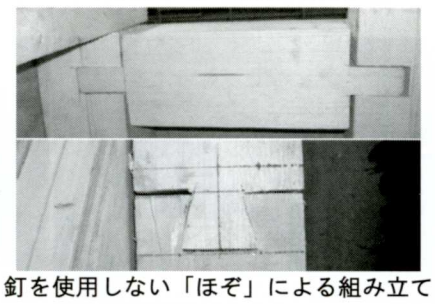
本体部の構築

妻部の構築

こだわりの２階建て構造

気合を一致させて重材料を運搬

施設学校長視察


釘を使用しない「ほぞ」による組み立て

第12施設群（群長・末廣1佐）は10月14日から22日の間、矢臼別演習場で実施された「平成26年度方面隊職種協同訓練（施設）」に参加した。訓練部隊として参加した第337施設中隊（中隊長・鈴木1尉）の任務は、第129特科大隊の要求に合致した4．5型LP簡易掩蓋掩壕による指揮所の構築であり、職種協同訓練を見据えた木造2階建て指揮所用掩蓋掩壕の構築訓練を事前に実施して、構築要領に関する認識の統一を図るとともに発生した問題点を早期に解決させ、万全の態勢で職種協同訓練に臨んだ。

第337施設中隊は訓練開始以降、降雨を始めとする各種地形・気象の困難な状況を克服するとともに発生する隘路を打開し、第129特科大隊の要求に合致する利便性・快適性に留意した指揮所構築に全力を傾注して、一切妥協することなく「徹底的に質の高い施設作業」をやり抜いた。

18日職種現況視察で訪れた施設学校長（冨井将補）は「2階建てにしたことで執務空間が広く感じ、ストレスを感じない。新しい事にチャレンジする事は素晴らしい。」と述べられた。

群は引き続き在来技術の木工技術や近年大きく取り上げられている電工技術についてもその修得・継承に努め、施設科としてのあるべき姿を追求する。

軽門橋（３舟４導板）の構築

自走架柱橋の前で記念撮影

岩見沢自衛隊協力会・自衛隊父兄会岩見沢支部　駐屯地見学

9月30日、岩見沢自衛隊協力会及び自衛隊父兄会岩見沢支部が駐屯地見学に訪れた。

両会は、毎年会員相互の親睦と防衛に関する認識の高揚を目的に、道内駐屯地や自衛隊のイベント見学を実施しており、今年は広く地域に貢献している、地元岩見沢駐屯地の活動を会員相互でより深めようということで実現したものである。

駐屯地に到着した両会は、状況説明及び史料館見学で駐屯地の活動と歴史について理解し、その後、第312施設器材中隊による自走架柱橋の架設訓練、第336施設中隊と各中隊による軽門橋の構築訓練を見学した。

訓練を間近で見た会員からは「これだけ厳しい訓練を積んでいる部隊が近くにあると、災害時にも安心できる。」「元気があって素晴らしい。」との声が聞かれ、駐屯地に対する更なる理解と協力を得ることができた。

千葉電気工事株式会社
代表取締役　千葉嘉男
岩見沢市東山10丁目6番3号
電話（0126）24−4567番

EVENT HALL
駅東市民広場
イベントホール未れんが
多彩な催しにご利用いただける施設です。
お気軽にお電話ください。0126-22-5871
岩見沢市有明町南1番地7
株式会社　振興いわみざわ
代表取締役 北市　宗三

豊かな暮らしのかけ橋
北海道新聞 岩見沢東部販売所
株式会社 青木・新聞店
〒068-0005
岩見沢市5条東7丁目　電話0126-22-0444
FAX0126-23-6350
フリーダイヤル 0120-230044（岩見沢地区のみ）

施設学校長、第12施設群を視察

施設科幹部として自信を持った部隊指揮を

10月6日、第12施設群（群長・末廣1佐）は施設学校長（冨井将補）の視察を受けた。

駐屯地に到着した学校長は、北海道の10月の肌寒さを体感された様子であった。

当初、状況報告を行い、駐屯地及び群の取り組みを確認され、「今後の機能別部隊改編を見据え、計画的に特技保有者を養成せよ。」と話された。

その後の隊内巡視では、第337施設中隊（中隊長・鈴木1尉）が平成26年度方面隊職種協同訓練（施設）で構築する2階建て指揮所用構築物に大きな関心を寄せられていた。これは木工特技保有者が創意工夫して発案したもので、実際の訓練を学校長も視察されることとなっている。（※3ページに関連記事）

また、群の幹部に対する訓話では、「施設科幹部は能力が高い。自信をもって部隊を率いてほしい。」「一人一人が明確な目標を持つということが組織として大きな前進である。」とし、自信の経験を踏まえた貴重な訓話を賜り、幹部自衛官としての資質の涵養を図れた。

懇　談

記念撮影

幹部に対する訓話

2階建て構造の指揮所を説明

構築物内部を熱心に視察

状況報告

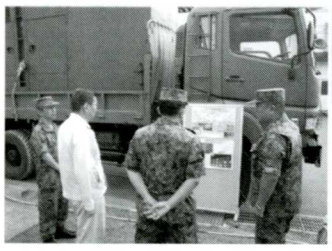
第11旅団長
渡部陸将補

第11旅団長、岩見沢駐屯地初度視察

9月10日、岩見沢駐屯地（司令・末廣1佐）は第11旅団長（渡部将補）の初度視察を受けた。

旅団長は司令から状況報告を受け、駐屯地の取り組みを確認し、「自衛官として必要な即応態勢を隊員一人一人に再認識させて、いざという時に迷いなく出動できるよう徹底せよ。」との指導をいただいた。

引き続き、警備上の観点から警衛所を、災害発生時に際しては第302坑道中隊が保有する給電装置を活用し、駐屯地の電源確保及び給水機能が応急的に維持できることを視察され、当駐屯地が即応態勢の確保に精力的に取り組んでいることを確認された。


給電装置を使用した非常用電源確保の要領について説明

警備上の観点から警衛所を視察

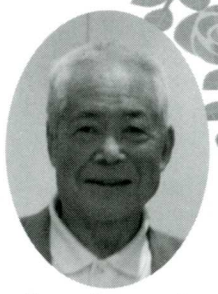
バラ園で
結婚式を挙げませんか!!
お二人の想い平安閣が叶えます。
IWAMIZAWA
HEIANKAKU
岩見沢市5条東2丁目 TEL 0126-23-4581
i-heiankaku@herb.ocn.ne.jp

SNACK
北の国から
飲み放題 3000円（5名様から）
岩見沢市3条西2丁目ツタヤビル4F店 主 平 井
☎ 0126-(22)-8873

日本生命保険相互会社
あなたの"いまとみらい"に安心を。
125th NISSAY ANNIVERSARY
NISSAY
札幌支社　江別営業部
鈴 木 真 理 子
Tel. 011－383－8450
防衛省共済組合 岩見沢支部 常駐員
沼 達 美 歩
〒068-0822　岩見沢市日の出台4丁目313
Tel. 0126-22-1001 内線338
001-H26-176

隊友会だより

岩見沢駐屯地日の出窯 初代窯元 近藤 尚さん 市政功労章受章



このたび、隊友会岩見沢支部 近藤 尚さんが平成26年度市政の発展に尽くした功績による岩見沢市文化功労者として表彰されました。さらに、同市の小中学校での陶芸を通じた児童生徒の育成に寄与した功績により教育振興文化功労者賞のダブル受賞となりました。

ここで近藤さんの自衛官時代からの実績、人柄、陶歴について紹介します。

自衛官時代は、文武両道で姿勢・礼儀正しく芸術に秀でており、後輩自衛官の理想でありました。また、誰にも優しく、時には厳しくもあり、常に物事を前向きに思考する人格者でした。

昭和39年の東京オリンピックでの協賛岩見沢市聖火リレーでは、駐屯地を代表して聖火隊を編成し、岩見沢境界から岩見沢市役所まで時間どおりに到達させました。

南恵庭の第3施設団の戦技訓練隊指導官としての勤務では、将来自衛隊を背負って立つ若い幹部とともに練成に励み、毎週休みの前日には、恵庭～岩見沢間約50㎞を走って帰隊し、到着後には自宅で焼き肉等の食事を振る舞い、ともに食して体力・気力を養成し、精強第12施設群の礎を確立した先人の一人です。

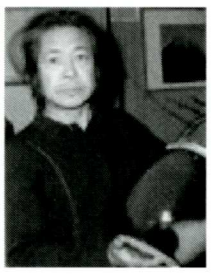
昭和40年、北の名人陶芸家・山岡三秋先生に師事し芸術的センスと日々の研鑽努力を認められ、岩見沢駐屯地の窯の作成から制作までを手掛け、初代『日の出窯』窯元となりました。

当時は自衛隊に対する感情不安の中でしたが、駐屯地での陶芸教室、隊区内の小中学校、役所、町内会、婦人会等で陶芸指導を行い、自衛隊との関係を良好なものにし、広報活動に大いに貢献しました。

昭和56年、自衛隊を退官後「栗沢に何かを」と模索中だった当時の町長、議会議長の要請を受けて栗沢に移住、『栗沢窯』を開窯しました。

その後は栗沢にとどまらず道内外からも依頼を受け、さらには海外でも活動されました。

今日まで3，500人もの小中学生に陶芸を通じて指導を行っています。84歳になった今も地域に密着して陶芸に打ち込み、駐屯地陶芸への指導のほか、岩見沢駐屯地の各種行事に参加をする等、元気に活動しています。



▶作品を手に、当時の近藤さん

【近藤 尚さんの陶歴】

昭和40年 陶芸家・山岡三秋先生に師事し、岩見沢駐屯地『日の出窯』初代窯元となる。
昭和44年 全道展初出品「入選」
昭和51年 伝統工芸新作展初出品「入選」
昭和53年 日本工芸会東京支部会員となる。
昭和54年 伝統工芸武蔵野展「入選」
昭和56年 自衛隊を定年退官
同年 栗沢町の要請を受け、『栗沢窯』を開窯
昭和60年 道美術展初出品「道教育長賞」受賞、同会員となる。
昭和63年 全国花のうつわ展「入選」
平成2年 全国うつわ展「連盟賞」
同年 空知信用金庫「産業技術奨励賞」
平成5年 北のうつわ展「特選」
平成7年 産業デザインコンクール「入選」

親睦ボーリング

10月18日、毎年恒例の親睦ボーリングをボルタトーホーボールで開催しました。

今回は、現職隊員が訓練のため不在にしておりましたので、隊友会員15名でしたけれども和気藹藹と楽しくゲームを行いました。ゲーム終了後、場所をとんとん亭に移動し、最年長の細川金治氏の乾杯の発声で懇親会が開始され、ボーリングの反省や現在の近況等、あっという間の2時間が経過し、締めをボーリング1位の佐々木哲弥さんの乾杯で終了しました。

ボーリングの結果は、次のとおりになりました。

第1位 佐々木哲弥さん
第2位 小西 敏治さん
第3位 天野 憲一さん

自衛隊退職者雇用協議会
岩 見 沢 支 部
事務局：岩見沢商工会議所内
支部長： 五 十 嵐 閤
TEL：0126－22－3445

岩見沢駐屯地ホームページ
昭和２８年から現在までの歴史や広報紙、部隊の訓練やイベント情報などを随時更新しています！
ぜひ、ご覧ください！
岩見沢駐屯地 検索

はじめまして！

9月に中隊配属された新所属隊員が、参加した訓練について投稿してくれました!

職種協同訓練に参加して

第337施設中隊
2等陸士　山田　秀之

この訓練は、中隊配属になってから2度目の野営訓練で、前回の野営訓練での反省点を忘れないようにして今回の職種協同訓練に臨みました。自分は、直轄分隊という中隊長直轄で動く分隊に同期3名と所属しました。分隊長は普段、中隊本部で勤務している方であり、副分隊長は営内の先輩陸曹でした。

副分隊長は、測量や電気配線などの別の任務で動くことが多かったので、状況中は一緒に動くことがあまりありませんでした。自分は、あの状況中に副分隊長と一緒に仕事ができればよかったと思っています。なぜなら、自分たち新所属隊員は、今まで副分隊長と一緒に仕事をすることがあまりなかったので、今回一緒に仕事をすることで少しでも副分隊長から何かを学んだり、知ることができたかもしれないと思ったからです。

副分隊長が不在の間、1年先輩の方が、1等陸士でありながら副分隊長の役割を担ってくれました。先輩は、状況中いろいろと苦労していましたが、それ以上に苦労していたのが分隊長だったと思いました。自分は同じ天幕だったので、普段、事務室で仕事をしているときとは違う分隊長を見て、「自分たちがもっとしっかりやることを理解して動いて、分隊長の負担を軽くできるように頑張ろう。」と思い、今まで以上に取り組みました。

状況終了後、分隊長の顔がホッとした顔になっているのを見て、本当に申し訳なく思い、次の訓練では今回以上に頑張り、先輩たちに負けないよう頑張っていきたいです。

最後に、この訓練で自分は多くのことを学びました。時には厳しい指導もありましたが、それでもこの7中隊に配属されてよかったと思いました。他の中隊に配属された同期たちよりも早く、より多くのことを学べたと思うからです。これからも7中隊に貢献できるように頑張りたいと思います。

岩見沢駐屯地 クラブ活動紹介

剣道部	野球部	陶芸部
銃剣道部	テニス部	そば打ち倶楽部
拳法格闘部	サッカー部	軽音楽部
	バスケットボール部	

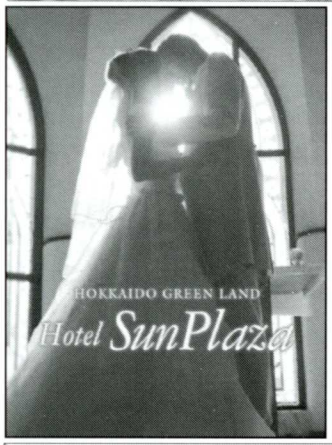
※ 入部を希望される方は、厚生科厚生班へお問い合わせください。各部の部長等を紹介してくれます。
※ 新規クラブを立ち上げたい方も厚生科厚生班へお問い合わせください。
※ 隊員の皆さん、余暇を有意義に過ごすためクラブ活動への積極的な加入・活動をしましょう！

広報紙は家に持って帰って、
ご家族にも見せてくださいね♪

こんにちは赤ちゃん

335施中　村形3曹
二女　希乃(のの)ちゃん
H26. 10. 16

312施器中　田中士長
長男　伶凰(れお)くん
H26. 9. 30



Electric Life Creater
SOIDEN
省エネ・節電のスペシャリスト
株式会社 創電
本　社／岩見沢市大和2条2丁目17番地
TEL(0126)22-1434(代)　FAX(0126)24-9155
札幌営業所／札幌市厚別区厚別西2条2丁目3番14号SDビル3F
TEL(011)895-7755　FAX(011)895-7701
三笠営業所／三笠市いちきしり16-8
TEL(01267)3-1141　FAX(01267)3-1186

Pub
あおき
岩見沢市2条西2丁目
TEL 0126-24-8085

まごころ便
株式会社
TKK トッキュウ Tokkyu
物流・・・・
それは“まごころ”のネットワーク
本社　〒068-0115　岩見沢市栗沢町最上498-9
TEL　0126-45-2792　FAX　0126-45-3053
http://www.tokkyu-group.jp
(札幌／札幌北／苫小牧／仙台／福島／関東／中部／大阪)